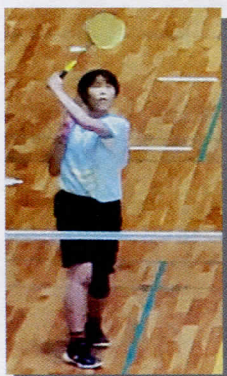


勝って奢らず 負けて腐らず ~The 法中プライド~



び美



かける 駆



かす下 奏

いのり 禱



リン 凜



かほやき 輝



いき 粋



あはれ 通



うさ 麗

わ 和



よい 嘉



あお 蒼



■5月31日(火)の新体操競技を皮切りに、6月2日(木)・3日(金)には、西部地区の各会場で県総体出場をかけた熱戦が繰り広げられました。結果についてはマチコミで一報させていただきましたが、勝敗の結果に関係なく、生徒たちは「法中の生徒である」というプライドを持ち、最後の一秒まで力を出し切る姿が随所で見られました。■掲載した写真はその中の、一瞬にすぎませんが、集中してボールを追う瞳や自分自身と闘う覚悟が垣間見えます。■本校生徒は、11日(土)にサッカー競技、そして16日(木)に水泳競技に出場する予定です。引き続きの応援を、よろしくお願いいたします。

一本足 3P シュートの思い出



前号で紹介した K 中バスケ部の後日談です。

県総体出場が決まり、大会が一週間前に迫ったある日の練習中。NO.1 シューターの 3 年 H さんが異音と共に突然倒れたのです。膝の十字靭帯の断裂でした。救急に運んで医師の指示を仰ぎましたが、もちろん大会の出場は無理、絶対安静の指示でした。

でも、最後の試合に出られないのは悔いが残る。医師の助言のもと、御家族や 3 年生を交えて数日間話し合った結果、今では考えられない作戦で出場させることにしたのです。

「残り 5 分間だけ、出場する。・・ただし、ディフェンスはせず、仲間のパスが来るまで動かない。パスが来たら、ためらわずに 3P シュートを打つ。」

当日は苦戦を強いられ 20 点差のまま、残り 5 分となりました。残りの 4 人は、その子に 3P を打たせるため、何度もリバウンドをとってロングパスをつなぎますが、当然相手のチームも思うようにさせてくれません。でも、バスケットの神様は彼女を見捨てませんでした。

8 回か 9 回目のパスが通った瞬間、美しい放物線を描いた 3P は、確実にネットを揺らしました。靭帯損傷の右足をかばい、左足一本で入れたシュートでした。・・結果、20 点以上の差をつけられて準決勝敗退でしたが、必死の形相でパスを送り続けた 4 人と、ベンチの絶叫、シュートを決めた H さんの顔が今でもよみがえってきます。

中学校のコートに久しぶりに戻って、遠くから部活を見守っていますが、ボールの音やバッシュの音が、いつもあの時代に引き戻してくれます。

県総体に出場がきまった皆さん、おめでとうございます。今まで頑張ってきた仲間と、最高のステージで悔いのないパフォーマンスをしてきてください。

ルパンとふるさと♪

先日の 5 日(日)にサマープラスコンサートが開催されました。

私も、午後 3 時 25 分から始まる本校の演奏を聴きに米子市公会堂に出かけました。曲目は彼らがコロナ禍でも一生懸命に練習した「ふるさと」「ルパン三世のテーマ」です。私はあえて三階から彼らの演奏を聞いてしまいましたが、自信と信頼に満ちた音色が、会場全体を包みこんでいました。ソロパートと全員演奏のマッチングにも鳥肌が立ち、一音一音を大切にしている姿に時間を忘れました。

一年生と二・三年生の制服の違いも、違和感がなく、むしろ会場の雰囲気になじんでいたように感じました。・・会場に来ていた西伯小のある児童が、「ぼくも吹奏楽部に入りたいです。憧れの先輩みたいにうまくなりたい!!」と語っていたのが印象に残りました。

夏に向けて、さらなるパワーアップに期待しています!

ところで、開場の際に、この二曲の共通点に気づきました。きっかけは以下の会話です。

「先生、ルパンの出だしは『ルパン、ルパーン♪』と思いませんか?・・(えっ違うんですか?)・・本当は『ルパン・ザ・サード(三世)♪』なんです。」

全く知りませんでした(笑)・・・というか、ずっと間違えて名前を連呼していました! そういえば、ふるさとの歌詞にも「うさぎおいし」論争があったのを思い出しました。「追いつ」が「美味しい」に頭の中で変換されてしまう方々は一定数いらっしゃるのでは・・。これらは空耳ソングというそうですね。「本当の歌詞とは別の言葉に聞こえてしまう」歌はけっこうありそうです。(サザエさんやアンパンマン??) さて、私こと。この二曲について、あらためて心の中で「本当の歌詞」を口ずさんでいたことは言うまでもありません。ルパン三世の演奏中は、頭の中を銭形警部が走り回っていましたけどね。



ルパンのお演奏
だませ!



法中の
名言

- もうええけん! 死ね・バカ・消えろは 聞き飽きた (法中 08 高校生)
- 喝采ドッチボールをやろう! (2 年生)
- あと一試合できることが幸せだと気づいた・・。(総体にて 3 年生)